

また、何年か何十年後（？）に常盤平のまちづくりが進展して、常一小の学校規模が大きくなったり学校そのもののあり方が変化したりした時には、新たな保護者や地域の人々による教育活動支援の仕組みが生まれるかもしれません。今回の改革がそれを阻むものでもありません。

4月に新しい学校生活が始まります。できることから動き始めて、動きながら「カイゼン」をしていくのが現実的な対応となると思います。昨年末にコロナ禍が安定したならば、3学期を「お試しの期間」としたいと提案していましたが、爆発的な変化で悪化をしたため、思うようにできなかったのが悔やまれます。しかし、令和4年度を見据えて、以下の活動について学校として具体的にまず提案させていただき、「学校支援ボランティア」の輪を広げていきたいと思っています。

No.	ボランティア	活動概要
1	登下校見守り	児童の安全確保のために登校時に以下のいずれかの活動を行う（不定期可） ○ ウォーキングやペットの散歩を兼ねて通学路を見回る ○ 家を出る子どもの背中を玄関やベランダから意識的に見守る 等
2	環境整備	学校の環境整備のために以下のいずれかの活動を行う（不定期可） ○ 学校が設定する期日に除草作業・清掃支援等の活動に参加する ○ 学校の許可を得て環境整備に役立つ活動を自主的に行う 等
3	行事支援	学校行事で必要に応じて準備や片付け、当日の手伝い等を行う（単発的） ○ 運動会の会場設営準備や後片づけ 等
4	コーディネート	学校支援ボランティアの活動を円滑に行うために以下の活動を行う（分担） ○ 各ボランティアの活動に関する文書作成や参加者のとりまとめ、当日の受付業務の手伝い 等
5	読み聞かせ活動	読書活動の支援のため以下のいずれかの活動を行う（不定期可） ○ 学校が設定する日の朝自習の時間帯に教室で読み聞かせを行う ○ 図書担当職員の依頼に従って図書室での活動支援を行う
6	おやじの会	学校支援や親子の交流を深める、父親の立場で子どもを見守る等の目的のために以下の活動を、主に週末や学校休業日活動に行う ○ 運動会の応援合戦支援・いも塾・ミニ門松づくり 等

以上の活動について4月に参加者募集をします。OBの参加も可能なので、6年生の保護者の皆様におかれましてもご希望がありましたら、学校にご一報ください。

先日の「黒板アート in 松戸」のボランティアの取組みに関わって、子どもたちの楽しい学校生活や明るい未来のために、自分の特技・能力や活動意欲を、機会を捉えて発揮して認め合うメンバーの姿や、活動成果が「サプライズ」と「交流」という一瞬の輝きを放って儚く消えていく流れに触れて、ボランティアの「心」を感じた気がしました。ひとつの目的に向かって、仲間と共に主体的に関わり、見返りや見かけの成果をあえて求めなくても満足できるという「心」です。これからはじめる「学校支援ボランティア」組織も、かくありたいと思いました。

既成の組織はなくなりましたが、保護者同士の主体的な絆をもとに、地域で協力して、子どもたちを守り育てることに、心をひとつに…。これからも がんばろう 常一小！

千葉県における自転車保険加入義務化について

令和4年7月1日から「自転車を利用する全ての職員、児童生徒は自転車損害賠償保険へ加入する（義務化）」となります。本校学区は自転車通行可の歩道が多くあり、常盤平駅方面は坂道も多いので、子どもたちの自転車の乗り方や歩行中の注意意識などを改めて指導したところです。万一の事態に備えて千葉県のホームページでご確認ください。「自転車保険義務化 千葉県」で検索しても確認できます。